

# 問

代表・一般質問を平成27年6月24日、25日、26日に開会した第2回定例会本会議で行いました。

## 代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無会派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

## 足立区議会自由民主党

### 改選後最初の本会議にて

### 足立区施策全般を問う

自由民主党 たただ太郎 議員



#### 区長の考える3期目への思いは

【問】今回の選挙直後、区長は区の舵取りについて、これまでも増した意気込みを述べていた。3期目を迎え、これからの区政運営についてトップリーダーである区長の決意を伺う。

【区長】元気高齢者に対する施策と地域包括ケアシステムの早期構築が、高齢者対策の中心の柱建てと考えている。一方、若年層の区内定着の促進は最重要課題であり、エリアデザイン地域を核に、さらなる魅力創出を通じて区内経済の活性化に力を注いでいく。

また、孤立や困難な状況の方々に寄り添える懐の深い自治体へと一歩一歩成長できるように、施策や事業を実施していく。

#### 新たな基本構想・基本計画は

【問】現行の基本構想・基本計画に基づき、区がこれまで取り組んできた結果をどのように評価するか。

また、新たな基本構想・基本計画の計画期間、策定する上で重要と考えるビジョンは何か。

【区長】策定過程の審議会の中で、現行の構想・計画に一定の評価をしていただき、その評価を踏まえた上で、新しい構想・計画の策定という形でつなげていきたいと考える。

新たな構想の計画期間は30年

があり、区民にどのような恩恵をもたらすと考えるか。

【政策経営】東医療センターには、今まで区内になかった救急救命センターとしての役割を果たす第三次救急病院等の特性があり、区民の命を守る機能が整備されている。考えられる区民への恩恵については、高度医療を有する第三次救急病院の存在がもたらす安心感と考える。

【問】綾瀬駅前再開発の状況は踏まえ、綾瀬エリアデザインを今後どのように進めていくのか。

綾瀬小の建替え、東綾瀬中の改修とともに、ハト公園の活用も視野に入れて進めていくこともできると考えるがどうか。

【資産管理】綾瀬駅前再開発の建物規模や建設スケジュール、それに伴い影響が予想される綾瀬小や東綾瀬中の施設規模の検証等を中心に進めていく。

また、エリアデザインの再検討の中で、まちの魅力創出等を視野に入れた、周辺の都市地や民有地との効果的な連携を模索していく。

【問】来年の夏はリオデジャネイロ五輪が開催される。東京五輪開催時に向けた、プレ一校一校運動として全校で取り組んでいくことを要望するがどうか。

【教育指導】都教委や庁内関係部課と連携を図りながら、一校一校運動をはじめ、さらなる国際理解教育の内容の充実を図っていく。

【問】地下鉄8号線区内延伸の実現を

【問】地下鉄8号線の区内延伸

が明確に位置付けられた際は、新駅や沿線の町並みの整備等を具体的に基本構想に盛り込み、区をあげて一丸となり計画を進めていく必要があると考えるがどうか。

【鉄道立体】鉄道整備とまちづくりは一体的に取り組むことで相乗効果が発揮され、沿線地域の活性化や魅力向上につながるものと認識している。新しい基本構想・基本計画に重点項目として盛り込み、区をあげて計画を推進できるよう、庁内関係部署と調整を図っていく。

【問】土づくりの里の覆がい化は、公園広場整備という枠にとられず計画を進めてほしい。

例えば、スポーツ施設・教育関連施設の誘致やコンサートやイベント会場にも使えるような施設の整備等、好立地条件と広大な敷地面積という、稀に見るこのチャンスを逃すことなく、夢のある覆がい化整備を実現すべきだと考えるがどうか。

【都市建設】夢のある覆がい化整備については、平凡な発想ではなく、様々な観点からの検討が必要であると認識している。

【問】教育大綱に盛り込む内容は

【問】教育大綱にはどのような内容が盛り込まれるのか。大綱策定の当事者である区長の見解を伺う。

【区長】区の教育を通じて、「こんな人間に育ってもらいたい」という目標を大理念として掲げ、次に子どもたちの成長に応じて、乳幼児期・青少年期・成人期の3つのステージごとに、それぞれの段階に応じて身に付けてほしい力は何かを明らかにしていくと考える。

特に、子どもの貧困対策は早め早め、切れ目なく丁寧な教育施策に横串をさすイメージを進めていくことも盛り込みたいと思っている。

【問】区は本年5月1日に「待機児ゼロ対策担当課」を新設した。年度当初に新たに組織を設



【問】区は本年5月1日に「待機児ゼロ対策担当課」を新設した。年度当初に新たに組織を設

【問】自治会のないマンションの管理組合を自治会とみなし、代表者を町会長会議へ参加させることはできないか。

また、防災等の行政情報を住民に伝える方法を考えるべきではないか。

【地域】ただちに町会・自治会とみなすことは難しいが、地区の会議への参加等について町会・自治会長に働きかけていく。

また、区からの様々な情報提供

置するという措置を講じた意図はどのようなものか。

また、待機児ゼロに向けた具体的な取り組みをどのように進めていくのか。

【教育長】働きながら安心して子育てできる環境づくり、つまり待機児童の解消は最重要課題と捉えている。これまで保育所の設置が後手に回っていた状況を打破し、地域ごとの保育需要まで綿密に分析を行っていく。

まず、フルタイム就労世帯の待機児を早急に解消するため必要な施設整備を行い、また、0から2歳児の受け入れ先として地域型保育事業の利用促進のため、子育てイベント、SNS等を活用したPR活動を行う。

さらに、3歳児以降の連携施設の仕組みづくりにも着手し、保育人材の確保のため、保育士養成機関等との連携や経済的支援策についても検討していく。



自由民主党 藤沼壮次 議員

## マンション住民との絆を！ 頑張る子どもにも支援を！

【問】自治会のないマンションの管理組合を自治会とみなし、代表者を町会長会議へ参加させることはできないか。

また、防災等の行政情報を住民に伝える方法を考えるべきではないか。

【地域】ただちに町会・自治会とみなすことは難しいが、地区の会議への参加等について町会・自治会長に働きかけていく。

また、区からの様々な情報提供

#### 育英資金制度の見直しを

【問】育英資金の返済期間の延長や返済方法の弾力化等、利用者にとって、より魅力ある利用しやすい育英資金になるよう制度を見直す時期が来ていると思

う。所得連動返還型奨学金制度を取り入れたら、給付型や返還免除型育英制度等を創設すべきでないか。

用語解説 \*一校一校運動：五輪開催地の学校が出身国や地域を決めて、文化や言語の学習や、その国の選手や子どもたちとの交流を通して異文化理解を深める活動